

災害情報発信用アプリ

☰ 概要

災害発生時、適切な情報を迅速に提供することが必要になる。
その方法について、スマホアプリを用いて考える。

☑ 解決したい課題：アイデアで解決したい課題は何で、それをどうしたいですか？

災害発生時における住民への適切な情報の提供

☑ 解決方法：課題をどうやって解決しますか。骨子を記載ください。

災害時に住民が使用できるアプリを作成する。
普及率を高めるため、平常時から使用をしてもらう為の機能も搭載する。

☑ 類似（独創性）：現在、このアイデアと類似する仕組みがあれば記載ください（検索してみてください）

東京都防災アプリなど、各自治体毎の防災アプリ

☑ 有意性：既に存在する類似の仕組みと比べて、どこが優れていますか（存在している場合のみ記載ください）

平常時に各自治体毎の情報やサービスを提供することで、普及率を高める。
多くの住民がアプリを利用することで災害時の人的被害や混乱を抑えたり、社会的弱者への支援・対応により注力できるなど、自治体業務の人的かつ財政的負担軽減に繋がる。

平常時の機能例：

- ・地域の防災情報の配信
- ・マイナンバーと紐づけて住民サービスの利用や、地元商店で利用できるクーポンの配信

☑ 実現方法：どのように実現するか、できるだけ具体的に記載ください（ファイル添付も可）

アプリを開発・リリース後、各自治体に必要な情報を用意していただく。
継続的に情報を更新していただく。
平常時は、各自治体の行政機関のみならず地元商店街などでアプリを利用する特典等をアピールし、普及率を高めていく。

☑ 課題・障壁：実現する上で課題となることは何ですか、それをどうやって克服しますか

- ・どれだけの数の自治体に採用されるか
- ・平常時からアプリをインストールし利用する住民がどれだけいるか（＝非常時に何の抵抗もなくアプリを使用できる人をどれだけ増やせるか）

☑ 期間・コスト：実現に必要な費用と期間はどれくらいでしょうか。初期リリースとそれ以降など記載ください

- ・顧客獲得費用
- ・システム構築費は5,000万円程度
- ・サーバー利用費は月額30万円程度

- ・ サービス運用保守（システム保守1名 問い合わせ対応2名）の人件費は月額100万円程度



未来像：実現したとき、人々がどのように恩恵を受けて幸せになれるか、理想像をお書きください

適切な情報に加え、各自治体・地域毎の狭い範囲での被害状況や避難場所などを迅速に確認できるようになる。

- ・ 自分のいる地域の被害状況や避難場所等の確認
- ・ 救助を必要とする場合など自分の状況を報告、登録できる
- ・ 避難所での配給チケットの配信や生活に関する情報の配信

など